



徳川家康

今川義元

武田信玄

井伊直政

源 頼朝

源 頼家

北条義時

旅 武
す 将
る と

い
び
陣
！

旅の手帖

MOOK
特別編集版



主ク争 岡 県



富士山本宮
浅間大社



御食事処 大漁市場
次郎長井



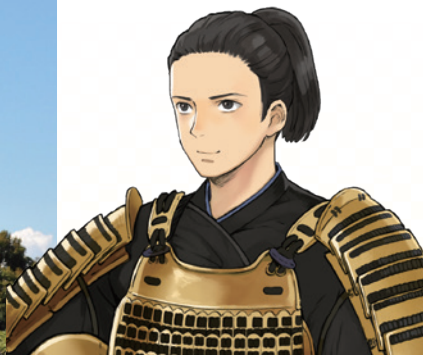
浜松城



金陀美具足



久能山東照宮



徳川家康〔織田同盟時代〕

今川義元の死によって岡崎に戻った家康は、三河統一に邁進する。三河統一後は浜松城を居城とし、天下統一を目指す織田信長と同盟を結び、朝倉氏や浅井氏、武田信玄との戦に明け暮れる。



上／現在の3層3階建ての天守閣は昭和33年(1958)の再建
下／公園内に立つ徳川家康公像は、勝利を呼ぶというシダの葉を手に入れている
写真／浜松・浜名湖ツーリズムビューロー

家康が築城した“出世城”

浜松城公園 (浜松市)

元亀元年(1570)に、武田軍の侵攻に備えて家康が築城。家康はこの城で29～45歳の17年間を過ごした。家康が天下統一を果たした後に城主となった大名も次々と幕府の要職に就いたことから「出世城」とも呼ばれる。

☎入園自由(天守閣は8:30～16:30) ⑥なし
⑤天守閣入場料200円 ⑦浜松市中区元城町100-2
⑨東海道新幹線浜松駅からバス8分の「市役所南」下車、徒歩6分 ☎053・453・3872 ⑩220台

家康と居眠り和尚の逸話が残る 秋葉總本殿 可睡斎

東海屈指の曹洞宗の名刹で、秋葉三尺坊大権現を祀る全国有数の火防霊場。ある時、家康に謁見していた仙麟等膳和尚は居眠りをしてしまった。しかし家康は「和尚、睡る可し(ねむるべし)」と言い、咎めなかった。やがてそれが寺名になったと伝わる。

☎8:00～16:30 ⑥なし ⑤拝観料500円 ⑦袋井市久能2915-1 ⑨JR東海道本線袋井駅からバス12分の「可睡齋入口」下車すぐ ☎0538・42・2121 ⑩100台



左／初代掛川藩主・井伊直好の墓。近くに直好の父・井伊直勝の墓もある
下／秋葉三尺坊大権現を祀る秋葉總本殿。参道両脇で天狗が睨みをきかせている



御城印は天守閣内売店で販売。300円

駿府で過ごした竹千代 その後、織田信長とともに天下統一を目指す



家康、生涯最大の敗北 三方ヶ原の戦い

三方ヶ原古戦場碑 (浜松市)

家康は信玄率いる武田軍に攻め掛けたが、2時間の攻防の後、大敗を喫した。敗走する途中で家康も討ち死に寸前まで追い詰められた。家康の生涯の中で、最も屈辱的な大敗であったという。

☎見学自由 ⑦浜松市北区根洗町784 三方原墓園 ⑨東海道新幹線浜松駅からバス40分の「三方原墓園」下車すぐ ☎053・452・1634(浜松市観光インフォメーションセンター) ⑩100台

古戦場跡に石碑が立つ



犀ヶ崖資料館 (浜松市)

犀ヶ崖は浜松城の北約1kmにある。近くで野営していた武田軍を徳川軍が奇襲し、武田軍の多くの将兵が転落して落命した。資料館では戦いの様子をジオラマなどで詳しく紹介している。

☎9:00～17:00 ⑥月曜(祝日の場合は翌日) ⑤無料 ⑦浜松市中区鹿谷町25-10 ⑨東海道新幹線浜松駅からバス10分の「さいが崖」下車すぐ ☎053・472・8383 ⑩6台

臨場感あふれるジオラマで戦いの様子を再現



戦国時代から泰平の世へ

武將の足跡を辿る

徳川家康

大御所時代

元和2年(1616)
駿府城で死去。久能山に埋葬される

豊臣臣従時代

天正18年(1590)
小田原攻め後、関東に移封

織田同盟時代

天正14年(1586)
豊臣秀吉に臣従。浜松城から駿府城に移る

幼少期

天文11年(1542)
三河国岡崎城主・松平広忠の嫡男として生まれる

天正12年(1584)
小牧・長久手の戦いで、豊臣秀吉と和睦する

天正10年(1582)
武田氏を滅ぼし、駿河国を平定。本能寺の変が起こり、堺から岡崎城に帰還

天正3年(1575)
長篠の戦いで武田勝頼軍を撃破

天正24年(1555)
静岡浅間神社で元服式を行う

慶長5年(1600)
関ヶ原の戦いで勝利し、事実上の天下人に

慶長8年(1603)
征夷大將軍に任命され、江戸に幕府を開く

慶長10年(1605)
將軍職を秀忠に譲り、徳川家による將軍職の世襲を示す

慶長12年(1607)
駿府城に移り、大御所として政治に関与

富士山を模した楼閣造りの大拝殿は高さ21mあり、漆塗りの神社建築では日本一の高さ



徳川家康〔幼少期〕

岡崎城主の嫡男として生まれる。幼少期の名は竹千代。家名存続のためにわずか6歳で人質となるが、今川義元のもと駿府で英才教育を受けて成長する。



家康手習いの間の遺構が残る古刹

清見寺 (静岡市)

人質として駿府に滞在していた竹千代が、今川家の軍師・太原雪斎から教育を受けた古刹でその後も幕府から格別の庇護を受けた。徳川家康が接ぎ木したとされる臥龍梅が現存する。築山池泉回遊式庭園は国の名勝。

☎8:30～16:00 ⑥なし ⑤拝観料300円 ⑦静岡市清水区興津清見寺町418-1 ⑨JR東海道本線興津駅から徒歩15分 ☎054・369・0028 ⑩40台



上／竹千代が教育を受けた大方式にある「家康手習いの間」
下／東海道に面して大方丈や仏殿、鐘楼などが立ち並ぶ景観は大寺の風格が漂う

竹千代の元服式が行われた今川家の氏神

静岡浅間神社 (静岡市)

神部神社、浅間神社、大歳御祖神社の三社を総称して静岡浅間神社と呼ぶ。竹千代を今川家一族の娘(後の築山殿)と結婚させるため、今川義元が烏帽子親となり元服式を執り行った神社。大拝殿、舞殿、楼門など数多くの建物が国指定重要文化財。

☎境内自由 ⑦静岡市葵区宮ヶ崎町102-1 ⑨東海道新幹線静岡駅からバス8分の「赤鳥居浅間神社入口」下車すぐ ☎054・245・1820 ⑩90台



神部神社と浅間神社の二社が並ぶ本殿は文化10年(1813)の建築

神となった家康を祀る

久能山東照宮（静岡市）

徳川家康の死去後、遺命によって元和2年(1616)に遺骸を埋葬し、それまであった久能山城を廃して家康を神として祀る東照宮を創建。楼門や唐門、鼓楼、社殿などの壮麗な建築物が立ち並ぶ境内の最奥に家康の神廟がある。境内に家康の愛用品や徳川歴代将軍が所有した甲冑や刀剣など2000点以上を収蔵する久能山東照宮博物館がある。

🕒9:00～17:00 ㊤なし ㊤拝観料500円(博物館400円、社殿・博物館共通800円)
📍静岡市駿河区根古屋390 ㊤東海道新幹線静岡駅からバス45分の「日本平ロープウェイ」下車、日本平山頂から日本平ロープウェイ(往復1250円)5分、久能山下下車。または静岡駅からバス50分の「久能山下」下車、徒歩20分
☎054・237・2438
📄200台(日本平駐車場)



本殿と拝殿を石の間で連結した権現造りの社殿は国宝に指定されている

久能山東照宮博物館では、家康が松平元康と名乗っていた19歳の頃に着用したと伝わる金陀美具足(きんだみぐそく)も見られる



御城印は異櫓1階売店で販売。突板500円、和紙300円

家康が寄進した壮麗な建造物

富士山本宮浅間大社（富士宮市）

約2000年前の創建という古社。駿河国一宮であり、全国に約1300ある浅間神社の総本宮。源頼朝や北条義時など武將の信仰が篤く、関ヶ原の戦いで勝利した徳川家康は、そのお礼として本殿・拝殿・楼門などを寄進している。

🕒11～2月は6:00～19:00、3・10月は5:30～19:30、4～9月は5:00～20:00 ㊤参拝自由
📍富士宮市宮町1-1 ㊤JR身延線富士宮駅から徒歩10分 ☎0544・27・2002 📄150台



左／慶長9年(1604)に家康が寄進したままの姿で立つ楼門
中／拝殿奥に立つ、全国的にも珍しい2階建て楼閣造りの本殿は国指定重要文化財
右／流鏝馬(やぶさめ)像は、源頼朝が富士の巻狩りの際に流鏝馬を奉納したことになむ



徳川家康〔大御所時代〕

豊臣秀吉の死は、家康が天下人となる好機でもあった。関ヶ原の戦いに勝利した家康は、征夷大将軍となり、江戸に幕府を開く。2年後に息子の秀忠に將軍職を譲ると駿府城に居を構え、大御所として君臨した。

家康が大御所時代に過ごした城

駿府城公園（静岡市）

前身は今川氏が本拠とした今川館。天正10年(1582)に徳川家の所有となり、家康によって近世城郭として整備された。家康は2代目將軍職を秀忠に譲った後、亡くなる75歳までの約10年間で駿府で過ごした。

🕒公園内自由(東御門・異櫓、坤櫓、紅葉山庭園の3施設は9:00～16:30、最終入場16:00) ㊤3施設は月曜(祝日の場合は開場) ㊤3施設共通入場料360円 📍静岡市葵区駿府城公園1-1 ㊤東海道新幹線静岡駅から徒歩15分
☎054・251・0016(二ノ丸施設管理事務所) ㊤なし



異櫓(写真)と東御門内では発掘資料の展示や、復元された臨濟寺の「竹千代手習いの間」を見学できる

高さ6.5mの徳川家康公之像は、鷹狩りをする晩年の姿



掛川城御殿は江戸後期の建築で、全国でも4カ所しかない現存する城郭御殿

東海の名城と謳われた美景

掛川城（掛川市）

室町時代に今川義忠が家臣の朝比奈氏に命じて築城。永禄11年(1568)、武田信玄の駿河侵攻により今川義元の子・氏真が籠城。家康と半年にわたる攻防戦の末、城を明け渡す。戦国末期に山内一豊が城の大改修を行い、城下町を整備した。

🕒9:00～17:00 ㊤なし ㊤入場料410円 📍掛川市掛川1138-24 ㊤東海道新幹線掛川駅から徒歩8分 ☎0537・24・8711(掛川観光協会) ㊤200台



平成6年(1994)に本格木造天守閣としては日本で初めて復元された



御城印は掛川城御殿ほかで販売。300円



秀吉への臣従に耐え、秀吉の死を機に天下分け目の戦に挑み、天下人へ



徳川家康〔豊臣臣従時代〕

織田信長の死後、徳川家康と豊臣秀吉は覇権争いで対立する。しかし、秀吉が関白の地位に昇りつめると、家康は秀吉に臣従する。家康は関東に移封されるが、着々と地盤を固め、来るべき戦に備えた。



家康大願成就の祈願所

遠江國一宮 小國神社（森町）

元亀3年(1572)、家康は「小國神社の神力がなければ戦に勝つことはできない」という切実な思いを込めた、祈願文と太刀を奉納。以来、関ヶ原の戦いに勝利し、天下統一の大願を成就したという。江戸幕府開幕の際、遠江国の社寺では最大の590石を寄進された名社だ。

🕒境内内自由 📍森町一宮3956-1 ㊤天竜浜名湖鉄道遠江一宮駅から送迎バス10分(毎月1・15日のみ運行) ☎0538・89・7302 ㊤900台

徳川家康〔織田同盟時代〕

400年前の山城の遺構が残る

山中城跡公園（三島市）

小田原城防備のために後北条氏が永禄年間(1558～1570年)に築城。石を使わず、土だけで築かれた戦国末期の代表的な山城。天正18年(1590)、秀吉の小田原攻めの際、豊臣方の大軍に包囲され、半日で落城したと伝えられる。

🕒入場自由 📍三島市山中新田410-4 ㊤東海道新幹線三島駅からバス30分の「山中城跡」下車すぐ ☎055・985・2970(山中城跡売店) ㊤50台



左／城跡一帯は史跡公園として整備されている
左上／御城印は山中城跡売店で販売。300円

障子堀越しに富士山を望む西ノ丸付近





頼朝、政子などゆかりの宝物を収蔵

三嶋大社（三島市）

伊豆国一宮であり、伊豆に流された頼朝が源氏再興を祈願し、願いを果たしたことから武将の崇敬が篤い。宝物館では北条政子奉納と伝わる梅蒔絵手箱(国宝)の復元模造をはじめ、頼朝や足利尊氏など武将にまつわる古文書や太刀など奉納品を多数展示。

📍境内自由、宝物館は9:00～16:00 ④宝物館500円(特別展は料金が異なる) 📍三島市大宮町2-1-5 📍東海道新幹線三島駅から徒歩15分 ☎055・975・0172 ②55台

慶応2年(1866)竣工の本殿・幣殿・拝殿が連なる複合社殿は国指定重要文化財



頼朝が放生会(ほうじょうえ)を行った神池(しんち)

頼朝と政子の恋物語の舞台

伊豆山神社（熱海市）

伊豆国の蛭ヶ小島に配流されていた源頼朝が源氏再興を祈願した神社で、悲願を叶えたことから「関八州総鎮護」の名を与えたという。頼朝と北条政子が結ばれた地であることから縁結びの神社としても知られる。

📍境内自由 📍熱海市伊豆山708-1 📍東海道新幹線熱海駅からバス7分の「伊豆山神社前」下車、徒歩7分 ☎0557・80・3164 ②40台



源頼朝

鎌倉幕府を開き、以後700年にわたる武家政権の幕を開けた。一ノ谷の戦い、屋島の戦い、壇ノ浦の戦いなどで勝利し平家を滅亡させた。



上／頼朝を慕った北条政子が愛を語らったと伝わる腰掛石
下／海拔170mにある本殿まで837段の石段が続き、境内から相模灘を一望できる

北条義時

鎌倉幕府2代執権。源頼朝の旗揚げに父・北条時政とともに参戦。頼朝亡き後、政務を談合で決める「13人の合議制」に加わった。



壮大な伽藍を誇った境内は国の史跡

願成就院（伊豆の国市）

鎌倉幕府初代執権・北条時政が源頼朝の奥州合戦の戦勝を祈願して建立。その後、義時、泰時と3代にわたって堂塔伽藍を整備した。

📍10:00～15:30 ⑧火・水曜(祝日の場合は開館) ⑨拝観料700円 📍伊豆の国市寺家83-1 📍伊豆箱根鉄道駿豆線伊豆長岡駅から徒歩15分 ☎055・949・7676 ②20台



上／頼朝の奥州攻めに尽力した北条時政の墓
下／大御堂に運搬作で国宝に指定されている5体の仏像を安置する

源頼家

鎌倉幕府2代将軍。頼家の後ろ盾であった比企氏が権力争いの末に北条氏に滅ぼされると、頼家は伊豆修禅寺に幽閉され、暗殺される。



源氏滅亡の歴史の一コマを知る

修禅寺（伊豆市）

大同2年(807)、弘法大師により創建。頼朝の没後、家督争いに敗れた2代将軍源頼家が幽閉された寺。宝物殿には劇作家・岡本綺堂作の『修禅寺物語』に出てくる頼家の仮面や、本尊の大日如来坐像などが収蔵されている。

📍境内自由 📍伊豆市修善寺964 📍伊豆箱根鉄道駿豆線修善寺駅からバス8分の「修善寺温泉」下車、徒歩5分 ☎0558・72・0053 ②なし



上／漆を浴びせられ、ただれた顔を、木彫りにして残したと伝わる頼家の仮面
下／頼家が入浴中に暗殺されるなど、源氏一族の悲劇の舞台となった

井伊家の菩提寺

龍潭寺（浜松市）

天平5年(733)、行基により開基。寺名は桶狭間の戦いで戦死した22代井伊直盛の戒名に由来する。井伊家の菩提寺で、墓所には23代直親や「井伊の赤鬼」と恐れられた24代直政、女城主と呼ばれた直虎などの墓もある。

📍9:00～16:30 ⑧8月15日と12月22～27日 ⑨拝観料500円 📍浜松市北区引佐町井伊谷1989 📍天竜浜名湖鉄道気賀駅から車5分 ☎053・542・0480 ②86台



小堀遠州によって築かれた池泉鑑賞式庭園は国の名勝に指定されている

井伊直政

徳川家康に小姓として仕えて以来、常に家康とともにあり、戦では先陣を切り武功を重ねた。関ヶ原の戦いで受けた鉄砲傷により死去。



武田と徳川が幾度も戦った城

展望台小山城（吉田町）

武田信玄により元亀2年(1571)に城郭が築かれた。三重堀をはじめとした遺構が残る一帯は能満寺山公園として整備され、展望台からは富士山や駿河湾などが望める。館内には武田氏ゆかりの甲冑や刀剣のレプリカを展示。

📍9:00～16:30 ⑧月曜(祝日の場合は翌日) ④入場料200円 📍吉田町片岡2519-1 📍東海道新幹線静岡岡駅からバス40分の「片岡北吉田特別支援学校」下車、徒歩10分 ☎0548・32・9286 ②50台

愛知県犬山市の犬山城を模した展望台小山城。城内は資料館になっている



武將の足跡を辿る

家康を育てた今川義元、仕えた井伊直政そして天敵であった武田信玄

今川家の菩提寺

臨済寺（静岡市）

今川義元が兄・氏輝のために創立した寺院。徳川家康が幼少期に住職・太原雪斎から10年間にわたって教育を受けた「竹千代手習いの間」が再現されている。本堂は国指定重要文化財、庭園は国の名勝。

📍10:00～15:00(拝観は5月19日と10月15日のみ) 📍静岡市葵区大岩町7-1 📍東海道新幹線静岡岡駅からバス15分の「臨済寺前」下車、徒歩5分 ☎054・245・2740 ②15台



上／臨済寺にある今川義元の木像
下／徳川家康が正親町(おおぎまち)天皇の命によって再建した重要文化財指定の本堂

今川義元

「海道一の弓取り」の異名を持ち、駿河・遠江・三河に今川最大の領地を築いた。桶狭間の戦いで織田信長に敗れ、42歳で討ち死にする。



武田信玄

「甲斐の虎」とも呼ばれ、領土拡大のため何度も駿河国に侵攻する。三方ヶ原の戦いで家康に大勝するが、病に倒れて死去する。



上／御城印は水窪総合体育館はかで販売。300円
下／発掘調査をもとに平成15年(2003)に井楼櫓や主殿、城門などが復元された



戦国時代の山城の姿が蘇る

高根城跡（浜松市）

標高420mに築かれた山城。永禄12年(1569)に城主・奥山氏は信州遠山氏に攻められて落城。落城後は武田氏の築城技術を駆使した改修が行われ、元亀3年(1572)の遠江侵攻においては武田軍の拠点となる。

📍見学自由 📍浜松市天竜区水窪町地頭方 📍JR飯田線向市駅から徒歩20分 ☎053・987・2100(天竜区観光協会水窪支部) ②26台

「ぶしのくに静岡県」とは

静岡県は、武士の時代を築いた源頼朝や北条氏ゆかりの地であり、江戸幕府を開いた徳川家康が人生の半分を過ごした地でもある。また、幕末には伊豆の下田が開国の舞台となるなど、武士の時代の始まりから終わりまでを各地で体感できる歴史・文化資源にあふれた「武士(ぶし)の国」である。

御城印

各城で発行している登城記念証。城主の家紋や花押が描かれたものなどデザインもさまざまで、数種類発行しているところもある。現地以外の場所で配布していたり、枚数や販売期間が限定のものもあるので事前に確認を。

この城もチェック！

浜松城……P3

掛川城……P4

山中城……P4

駿府城……P5

高根城……P6

小山城……P6

静岡の城

城が語る戦国の歴史ドラマ

静岡県は東西の要衝にあり、700を超える城があったという。城は権力の象徴であり、群雄割拠した武将たちによる戦の舞台でもあった。城に秘められた歴史物語を訪ねてみよう。

北条・武田が争奪した城

深沢城

（御殿場市）

今川氏が築城し、永禄12年(1569)頃に北条氏が本格的な整備を行ったという。武田軍が攻め入った際、北条綱成に降伏勧告を行った「深沢城矢文」で知られる。

📍見学自由 📍御殿場市深沢 📍東名高速道路御殿場ICから車10分 📞0550・82・4319(御殿場市教育委員会) 📍なし



写真／御殿場市教育委員会

東海道を見下ろす要衝の地

蒲原城

（静岡市）

標高138mの山頂にかつての山城の遺構が残る。難攻不落といわれたが、武田氏や織田氏・徳川氏の連合軍によって2度落城している。

📍見学自由 📍静岡市清水区蒲原字城山 📍JR東海道本線新蒲原駅から徒歩40分 📞054・221・1066(静岡市観光交流文化局文化財課) 📍10台



四方に堀をめぐらせた平山城

久野城

（袋井市）

今川氏による遠江侵攻に際して久野宗隆が築城。難攻不落の平山城といわれ、武田信玄に攻められたときも落城しなかった。

📍見学自由 📍袋井市鷲巣1135 📍東名高速道路袋井ICから車10分 📞0538・23・9264(袋井市生涯学習課) 📍10台



御城印は袋井北コミュニティセンターで販売。300円



写真／久野城址保存会

徳川家康と武田信玄の戦の地

二俣城

（浜松市）

天竜川に面した天然の要害に築かれた山城で徳川家康と武田信玄・勝頼の戦の地。家康の長男・松平信康が切腹させられた地でもある。

📍見学自由 📍浜松市天竜区二俣町二俣 📍天竜浜名湖鉄道二俣本町駅から徒歩10分 📞053・925・5845(天竜区観光協会) 📍5台



御城印は天竜区観光協会で販売(写真は過去に販売したもの)



写真／浜松市文化財課

史跡公園として往時の姿を再現

長浜城

（沼津市）

北条水軍の拠点として内浦湾沿岸に築かれた。天正8年(1580)、武田・北条両水軍による駿河湾海戦があった。

📍見学自由 📍沼津市内浦重須・内浦長浜 📍JR東海道本線沼津駅からバス38分の「長浜城跡」下車、徒歩1分 📞055・935・5010(沼津市文化財センター) 📍5台



御城印は沼津観光協会で販売。300円



北条早雲の旗揚げの城

興国寺城

（沼津市）

愛鷹山の尾根に築かれた山城で、北条早雲の旗揚げの地。大土塁と大空堀が残り、天守台からは駿河湾が遠望できる。

📍見学自由 📍沼津市根古屋 📍JR東海道本線沼津駅からバス40分の「東根古屋」下車、徒歩7分 📞055・935・5010(沼津市文化財センター) 📍30台



御城印は沼津観光協会で販売。300円



たかてんじん 高天神を制する者は遠江を制す

高天神城

（掛川市）

鶴翁山の地形を生かした城は、難攻不落といわれたが、家康の兵糧攻めにより落城する。山腹に城跡の遺構が見られる。

📍見学自由 📍掛川市上土方嶺向 📍東海道新幹線掛川駅からバス24分の「土方」下車、徒歩15分 📞0537・24・8711(掛川観光協会) 📍110台



御城印は掛川観光協会ビジターセンターほかで販売。300円



往時の石垣が復元された城跡

横須賀城

（掛川市）

高天神城攻略の拠点として、天正6年(1578)に徳川家康の命を受けた家臣の大須賀康高が築城。江戸時代には、横須賀藩の中心だった。

📍見学自由 📍掛川市山崎1-1 📍JR東海道本線袋井駅からバス20分の「七軒町」下車、徒歩5分 📞0537・24・8711(掛川観光協会) 📍15台



御城印は掛川観光協会ビジターセンターほかで販売。300円



北条水軍の拠点

下田城

（下田市）

後北条氏が南伊豆防衛の拠点として築城。別名・鶴島城と呼ばれた。豊臣方の軍勢に侵攻された際、50日間籠城の後、開城された。

📍見学自由 📍下田市3丁目 📍伊豆急行線伊豆急下田駅から徒歩20分 📞0558・22・1531(下田市観光協会) 📍10台



伊豆の名族・狩野氏の居城

狩野城

（伊豆市）

平安時代後期から室町時代後期までの約400年にわたり領主だった狩野氏の居城。急峻な山地にあり、深い空堀によって厳重に守られていた。

📍見学自由 📍伊豆市大平柿木 📍伊豆箱根鉄道駿豆線修善寺駅からバス15分の「柿木橋」下車、徒歩10分 📞0558・85・1056 📍13台



武田氏の築城術が見られる山城

諏訪原城

（島田市）

武田信玄の子・勝頼が遠江国侵攻の拠点として築いた山城。現在見られる巨大な丸馬出や堀は、徳川家康によって改修されたと考えられる。

📍見学自由 📍島田市菊川1174 📍新東名高速道路島田金谷ICから車12分 📞0547・36・7967(島田市観光文化部博物館課) 📍8台



御城印は諏訪原城ビジターセンターほかで販売(令和5年12月28日まで)。300円



急峻な地形を利用した山城

勝間田城

（牧之原市）

豪族・勝間田氏が15世紀中頃に築城したという山城。戦国時代初期の縄張りが残され、当時の山城の特徴がよくわかる。

📍見学自由 📍牧之原市勝田2160-1 📍東名高速道路相良牧之原ICから車15分 📞0548・53・2646(牧之原市教育委員会) 📍なし



御城印は要問い合わせ。300円



写真／牧之原市教育委員会・牧之原御城印製作委員会

右／江戸時代に建てられたなまこ壁の建物が往時の雰囲気を今に伝える
左／サービスステーキはライス、サラダ、コーヒー付きで2000円～

なまこ壁の古民家カフェで洋食を

サービス ステーキ



掛川茶のおいしさ体感カフェ

抹茶ラテ

香り高い抹茶ラテ。ホットはホワイトチョコを使用。アイス550円、ホット500円



茶の庭 (掛川市)

茶畑を眺めながら掛川茶の魅力を感じられるショップ&カフェ。香りを逃さず、旨味成分をしっかりと茶葉から抽出できるオリジナルの急須で淹れた煎茶をぜひ味わいたい。煎茶付きのふりんセット750円～、あんみつセット1080円～。

☎10:00～18:00 ㊟なし ㊦掛川市上内田389-1 ㊧東海道新幹線掛川駅から車8分
☎0537・28・7077 ㊨40台



手作り安倍川もち(102号)900円は、昭和25年に販売された当時の意匠を復刻

駅ビルのパルシェ食彩館内にあるので、土産を買い求めるには最適だ



平野屋 (下田市)

この地は、幕末の開港時、外国船の乗組員たちに薪や水、食料などの物資調達をする欠乏所があったところ。開港当時の雰囲気を施したレトロな店内で味わえるのは、ランチプレートやステーキなどの洋食と手作りケーキ。

☎11:00～15:30LO ㊟火曜・不定 ㊦下田市3-1-4 ㊧伊豆急行線伊豆急下田駅から徒歩15分 ☎0558・22・2525 ㊨10台

たまご専門店TAMAGOYA

ベーカリーカフェ (函南町(かんなみちよう))

三島ブランド認定の「日の出たまご」の専門店。卵の販売のほか、職人が焼き上げるパンや焼き菓子などを販売。店は山間部にあり、箱根の山々や富士山を眺めながらパンやサラダビュッフェ、スイーツなどを味わえる。

☎9:00～17:00 ㊟なし ㊦函南町畑374-63 ㊧新東名高速道路長泉沼津ICから車35分
☎055・974・4422 ㊨25台

カスタードの中にプリンとパンケーキが入った巣ごもりパンケーキ かすたーど 990円



黄身が濃厚な卵スイーツ

巣ごもりパンケーキ かすたーど

家康ゆかりの銘菓②

物語

家康に献上された餅菓子 安倍川もち

家康が安倍川上流にあった金山に出向いた際、きな粉をまぶした餅を献上したところ、家康はこれを気に入り、安倍川もちと命名したという伝承がある。現在の安倍川もちは、餅にこし餡ときな粉を絡めたもので、東海道の名物となり、多くの旅人に愛されている。

やまだいち (静岡市)

戦争中は食材の入手が困難であったため途絶えていた安倍川もちを、昭和25年(1950)に静岡駅の駅売場で復活させた。毎朝手づくりしたものが売店に並ぶ。

☎9:30～20:00 ㊟不定 ㊦静岡市葵区黒金町49 パルシェ食彩館内 ㊧東海道新幹線静岡駅から徒歩3分
☎054・255・8766 ㊨342台

御食事処 大漁市場 (静岡市)

エスパルスドリームプラザ2階の清水すし横丁の店。駿河湾の海の幸を中心にした寿司と和食は魚好きを魅了する。土・日曜、祝日のランチタイムには寿司バイキング50分2200円を実施。

☎11:00～20:00 ㊟なし ㊦静岡市清水区入船町13-15 ㊧JR東海道本線清水駅から無料シャトルバス10分
☎054・355・1622 ㊨1600台

マグロ、生桜エビ、生シラスなど地域特産の魚介を盛り込んだ次郎長丼1800円

駿河湾の海の幸を堪能

次郎長丼



うなぎ蒲焼きをお茶漬け風に

お櫃鰻茶漬け



ひつまぶしと同じように蒲焼きはひと口サイズのものがのっている

うなぎ八百徳駅南店 (浜松市)

明治42年(1909)創業。うなぎ蒲焼きは蒸して焼く関東風でふくら柔らかい。やや甘めのタレと相性もよい。名物のお櫃鰻茶漬け4400円は1杯目はそのまま、2杯目は薬味をのせて、3杯目は昆布出汁をかけてお茶漬けにして味わう。

☎11:00～20:00LO ㊟月・第1火曜 ㊦浜松市中区砂山町325-7 ㊧東海道新幹線浜松駅から徒歩1分
☎053・452・5755 ㊨なし(近隣に提携㊨あり)

家康ゆかりの銘菓①

地名にも残る三方ヶ原の戦いの逸話 小豆餅・銭取

物語

三方ヶ原の戦いに敗れた家康は、浜松城に逃げ帰る途中、茶店に立ち寄り小豆餅を食べた。しかし、敵の気配を感じたため銭を払わずに逃げ出すと、店主の老婆は「銭を！」と叫び追いかけたという。浜松市中区には「小豆餅」という地名が残し、「銭取」というバス停もある。

御菓子司 あおい (浜松市)

創業58年目を迎える老舗。徳川家康にまつわる逸話や浜松の地名などにちなんだ和菓子を製造・販売する地域密着型の店。

☎8:00～19:00 ㊟月2回不定 ㊦浜松市東区有玉北町1593 ㊧遠州鉄道さぎの宮駅から徒歩3分 ☎053・435・3365 ㊨5台

銭取1個220円は、小判型の和風マドレーヌ



羽釜炊きのご飯と炭火焼のウナギ

うな井



店一番の人気メニューになっているうな井4620円は肝吸い、香の物付き

静岡県へのアクセス

静岡県は日本のほぼ中央に位置し、東海道新幹線をはじめ、東名高速道路と新東名高速道路が東西に横断し、アクセスは抜群。札幌、出雲*、福岡、熊本*、鹿児島、那覇からは飛行機でアクセスすることもできる。

※出雲～静岡・熊本～静岡間は、2024年1月9日以降運休



西部エリア

风光明媚な浜名湖を有するエリア。徳川・武田の激しい攻防の舞台となった地。

東海道新幹線

【浜松駅】

- 東京から1時間25分(ひかり)～1時間50分(こだま)
- 名古屋から30分(ひかり)～45分(こだま)
- 新大阪から1時間25分(ひかり)～2時間(こだま)

【掛川駅】

- 東京から1時間40分(こだま)
- 名古屋から1時間(こだま)
- 新大阪から2時間15分(こだま)

車

【浜松】

- 東名高速道路浜松ICから浜松城公園まで9.4km・25分
- 新東名高速道路浜松北ICから浜松城公園まで17.3km・35分

飛行機

【浜松】

- 富士山静岡空港から浜松城公園まで車で54.6km・1時間

中部エリア

南アルプスと駿河湾に抱かれたエリア。駿府では家康が幼少期と大御所時代を過ごす。

東海道新幹線

【静岡駅】

- 東京から1時間(ひかり)～1時間20分(こだま)
- 名古屋から55分(ひかり)～1時間15分(こだま)
- 新大阪から1時間50分(ひかり)～2時間30分(こだま)

車

【静岡】

- 東名高速道路静岡ICから駿府城公園まで5.6km・15分
- 新東名高速道路新静岡ICから駿府城公園まで9.1km・20分

飛行機

【静岡】

- 富士山静岡空港から駿府城公園まで車で38.1km・50分

富士エリア

世界文化遺産・富士山の恵みあふれるエリア。武将も崇拝した古社をめぐりたい。

東海道新幹線

【新富士駅】

- 東京から1時間10分(こだま)
- 名古屋から1時間30分(こだま)
- 新大阪から2時間45分(こだま)

【三島駅】※三島は伊豆エリアです。

- 東京から45分(ひかり)～55分(こだま)
- 名古屋から1時間15分(ひかり)～1時間45分(こだま)
- 新大阪から2時間10分(ひかり)～2時間55分(こだま)

車

【富士宮】

- 東名高速道路富士ICから富士山本宮浅間大社まで10.4km・15分
- 新東名高速道路新富士ICから富士山本宮浅間大社まで8.7km・14分

飛行機

【富士宮】

- 富士山静岡空港から富士山本宮浅間大社まで車で83.7km・1時間17分

伊豆エリア

海の幸や温泉が魅力の伊豆半島。源頼朝が源氏再興の旗揚げをしたゆかりの地の歴史探訪を。

東海道新幹線

【熱海駅】

- 東京から40分(ひかり)～45分(こだま)
- 名古屋から1時間20分(ひかり)～1時間55分(こだま)
- 新大阪から2時間20分(ひかり)～3時間10分(こだま)

車

【修善寺】

- 東名高速道路沼津ICから修善寺温泉まで31.4km・35分
- 新東名高速道路長泉沼津ICから修善寺温泉まで30.1km・35分

飛行機

【修善寺】

- 富士山静岡空港から修善寺温泉まで車で122.8km・1時間50分

静岡県観光公式サイト ハローナビしずおか



静岡県内の国・県指定文化財のウェブサイト

しずおか文化財ナビ



静岡県公式観光アプリ

TIPS[ティップス]



●静岡県の観光の問い合わせ

公益社団法人静岡県観光協会 ☎054・202・5595(8:30～17:15、土・日曜・祝日・年末年始休)

※このパンフレットは旅の手帖MOOK『武将と旅する静岡・浜松・富士・伊豆』2023年1月発売を抜粋し、加筆・修正した特別版です。

※掲載情報は2023年8月31日時点のものです。営業時間・定休日・料金・アクセス情報などは変更になる場合がありますので、詳細はお出かけ前にご確認ください。また、掲載の所要時間はおおよその目安です。